

ファンドの価値観～Common Values(コモン バリューズ)～ 今日より良い明日を育む長期投資

今月のコモンズレター主な内容

- P2 運用状況をチェック！
- P3 コモンズ30ファンドのポートフォリオはこちらをご覧ください
- P6 今月もさまざまなセミナーをご用意して皆さまをお待ちしています



こんにちは、渋澤です。皆さんに御馴染みのコモンズ投信のロゴ。時々、「すてきなロゴですね」と褒め言葉をいただくことがあります。色々な想いが込めてあるロゴですから、評価していただくと本当にうれしく思います。

さて、このロゴに隠れた秘密があることをご存じでいらっしゃいますでしょうか。

コモンズ投信の設立の準備中の2008年にロゴの作成をデザイナーに依頼しました。その際にお願いしたことは、①コモンズの設立理念が表現されるもの、②既存の金融機関っぽくないという二つの条件を満たすものでした。

数週間後、いくつかの案が戻ってきました。じっくりと、しっかりと成長する意味を込めた木の年輪をイメージした面白い案などもありましたが、私は現在のロゴに一目ぼれしました。

親子が手をつないで、共に未来へと歩む。すてきなイメージだと思いました。瑞々しい緑も気に入りました。単に家族の資産形成を促すだけではなく、共に色々と学んで自己実現と成長できる場も提供する。「今日よりも、よい明日」が実現する世代を超える旅を支える。コモンズ投信の設立理念を、しっかりと象徴していると感じました。

ロゴの最後の決め手がありました。コモンズ投信のロゴに隠れている「秘密」です。親子は緑の点がつながって構成されていますね。一個ずつ数えてみてください。

渋澤と伊井の「
今月の想い」

全部で30個あります。

そうなんです。30年という一世代をしっかりと表しているロゴなんです。世代を超える投資があるはずだというコモンズ30ファンドの投資理念も表現しているのです。

このような投資を目指すと自然と勇気が湧いてきて気が楽になります。2月の株式市場も荒れました。株価を追っていると首が上下に振られ、疲れてしまいます。経済の行先の不透明感や地政学的な課題をなかなか払しょくすることができず、今後の株式市場の行方は楽観できません。ただ、世代を超える投資を目標にしているのであれば、市場が荒れても気持ちが動搖することありません。

世代を超える価値を創造する企業が必ず存在しているはずだからです。逆境に直面するからこそ、「今日よりも、良い明日」を求める気持ちが高まります。そういう意味で、私は楽観しています。



コモンズ投信株式会社
取締役会長
渋澤 健

基準価額の推移



ファンドのデータ

(2016年2月29日付)

基準価額	19,987円
純資産総額	6,968百万円
受益者数(直販)	4,278人(+37)
うち積立	3,439人(+15)

()内は前月比

基準価額(税引前分配金を再投資したものとして算出)の騰落率

(2016年2月29日付)

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
▲7.95%	▲16.06%	▲10.27%	▲14.02%	34.71%	55.05%	110.70%

分配実績

第1期 (2010年1月18日)	第2期 (2011年1月18日)	第3期 (2012年1月18日)	第4期 (2013年1月18日)	第5期 (2014年1月20日)	第6期 (2015年1月19日)	第7期 (2016年1月18日)
120円	130円	0円	200円	200円	220円	0円

運用状況

◎2月のファンド月間リターンとその要因

2月のファンド月間リターンは7.95%の下落となりました。銘柄別の月間リターン上位5銘柄は、「資生堂(+9.78%)」、「ユニ・チャーム(+5.43%)」、「ベネッセホールディングス(+2.54%)」、「マキタ(▲0.90%)」、「丸紅(▲0.91%)」となりました。一方、下位5銘柄は、「デンソー(▲18.86%)」、「日立製作所(▲18.50%)」、「旭化成(▲17.51%)」、「クボタ(▲17.30%)」、「セブン&アイ・ホールディングス(▲15.38%)」となりました。あくまでご参考ですが、同月のTOPIXは9.37%の下落となり、当ファンドはTOPIXを1.42%上回りました。

◎新規買付及び全売却決定銘柄、月末の組入銘柄数

2月に決定された新規買付銘柄及び全売却銘柄はありません。したがって2月末の組入銘柄数は前月と同様に30銘柄となりました。

◎2月末のポートフォリオの構成比(株式組入比率)

2月末の株式組入比率は前月末(98.5%)から約1%引き下げ、97.3%となりました(残り2.7%程度は現金などを保有)。月を通しての株式組入比率は前月水準となる99~98%程度を維持しました。

◎2月末の組入上位10銘柄と投資行動

2月末の組入上位10銘柄は、「システムズ」、「資生堂」、「ユニ・チャーム」、「楽天」、「信越化学工業」、「日立製作所」、「日揮」、「日東电工」、「デンソー」、「ディスコ」です。投資行動としては、「投資委員会」にて承認された運用計画に基づく各銘柄の組入比率(2.5~3.5%)とするために、株価下落により相対的に組入比率が下がった銘柄を買い増し、相対的に組入比率が上がった銘柄を一部売却しました。

◎運用・調査体制について

是非、7ページ目をご確認下さい。

●組入比率と組入銘柄に関しては、マザーファンドについての記載となります

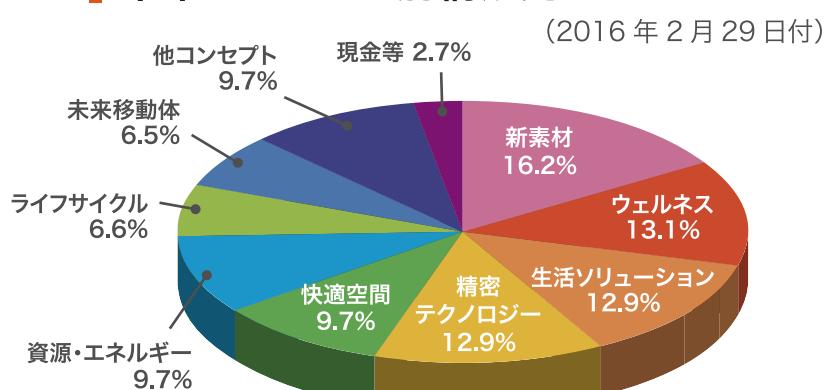
運用部長・チーフポートフォリオマネジャー 糸島 孝俊

ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
株式	97.3%	▲1.2%
現金等	2.7%	1.2%
構成銘柄	30社	±0社

● ポートフォリオの構成比と未来コンセプト別構成比に関しては、マザーファンドについての記載となります。

未来コンセプト別構成比



※未来コンセプトは全10種類。詳細は7ページ参照

組入上位10銘柄

(2016年2月29日付)

銘柄名 [コード]	未来コンセプト	概要
シスメックス [6869]	ウェルネス	ヘルスケアの進化に貢献する企業です。ヘマトロジー(血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検査)分野において世界No.1シェアを確立。大学、研究所、病院を顧客に急発展し、サステナブル企業として成長を続けています。
資生堂 [4911]	ウェルネス	巨大市場の中国、アジアで認められた美の感性、アジア人の肌を知り尽くした技術、おもてなしの心(接客力)が成長の牽引力となっています。
ユニ・チャーム [8113]	ライフサイクル	これまで培ってきたマーケティング力を生かし、新興国ではトイレタリーで、先進国ではペットケアでの成長を目指しています。経営の仕組み化や、他社から学び継続的改善をおこなっていることは、強みの一つです。
楽天 [4755]	生活ソリューション	社内公用語の英語化、海外企業買収など、成長に向けた強い意欲が際立ちます。社員による店舗サポートが強みで、理念の共有、教育等の人的資産投資を積極的に行ってています。
信越化学工業 [4063]	新素材	収益に対しての執着心が強く、強いポジションを築いています。塩化ビニルなどの汎用品と、半導体ウエアなどの先端テクノロジーの双方で高いシェアを獲得しています。
日立製作所 [6501]	社会インフラ	2008年度の巨額赤字後、マネジメントの強力なリーダーシップで進められた構造改革で強靭な組織になり、収益体质も強化されました。「インフラとITをつないで、世の中を便利にする」をモットーに、グローバルでの展開を加速。重視する「ダイバーシティ」が、成長の大きな武器になります。
日揮 [1963]	資源・エネルギー	世界約70カ国、2万件以上のプロジェクト実績があり、他社に先駆けて海外展開しました。オイルメジャー、新興国からの絶大な信頼で、世界のエネルギー需要に貢献しています。また新興国の水処理等の環境事業へも参入し、成長を目指しています。
日東電工 [6988]	新素材	成長が期待される環境や医療向けなどに事業領域を柔軟に変化させながら、固有の技術をベースに、シートやフィルムに付加価値を加えた製品で成長しています。それぞれの地域ごとに品質や価格を調整し、シェアの獲得を目指しています。
デンソー [6902]	未来移動体	1949年にトヨタ自動車から分離独立し「日本電装」として創業。自動車市場の拡大や自動車のモジュール化(複数の機能をまとめた部品にすること)などが追い風となります。今後の成長が期待される自動運転では、ソフトウェア開発に注力するとともに、技術力を武器に強みを発揮していく見込みです。
ディスコ [6146]	精密テクノロジー	半導体やLEDの製造に欠かせないグラインダーやダイサーなどを製造しています。「誰が正しいかではなく、何が正しいか」など、ディスコバリューで自社の経営体制も磨き続けています。

新規組入投資先

なし

今月のピック！

2月はデンソーの株価が18.86%の大幅下落となりました。2月初旬の2016年3月期通期業績計画の下方修正発表(通期経常利益で、前期比6%増の3,500億円から同0.2%増の3,320億円へ)や想定レート(115円／ドル)を超える円高進行などが悪材料となりました。短期的な業績には停滞感が出ていますが、将来に向けた戦略は着々と進んでいます。同社はADAS(先進運転支援システム)や自動運転など車社会の変化を睨み、ソフト開発力を強化しています。自動運転では、画像を認知・処理・表現するプロセスが重要になるほか、高速道路の合流や見通しの悪い交差点で通信網を活用して安全性を高める技術などが重要となります。2月は、画像処理ソフトに強みを持つモルフォとの資本提携、携帯電話の通信網を利用した運転支援システムの研究開発でNTTドコモとの協力、などが発表されました。

運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

企業との対話

こんにちは。マーケティング部の馬越です。

コモンズらしいセミナーとして好評をいただいている「統合レポートワークショップ」。今回はコモンズ30ファンド投資先企業の三菱商事と初めてコラボセミナーが実現！武久IR部長と共に、第18回日経アニュアルリポートアワード優秀賞を受賞した同社の統合報告書の作成に携わったIR部、環境・CSR推進部の皆様が現場の声を届けてくださいました。

武久部長は、冒頭「作ることが目的でなく、統合報告はあくまでも対話のツール。いつでもこの統合報告書を持って投資家の皆さんに説明できるようにしている」とコメント。当日は10代の投資初心者の学生さんから投資歴の長い60代の方まで、様々な方々が参加し、グループごとに良かった点や改善点など審査シートをもとに話し合い、発表しました。「資源株だと思っていたが利益の21%しか資源分野ではなく、資源以外にこんなに広い分野に取り組んでいるんだ」など、捉えにくい総合商社の実態がわかりやすく表現されているという評価の声があがったり、「初心者にとってはボリュームがあり過ぎるのではないか」、「CSRやコーポレートガバナンス（企業統治）を大事にしている背景も説明されると良かった」など、中には厳しい指摘もありましたが、それらは同社への強い期待から生まれてくるものだと感じられました。

武久部長よりメッセージが届いています。「先日は統合報告書のワークショップに参加させて頂き、厚く御礼申し上げます。普段なかなか耳にすることが無い、個人投資家の皆様のご意見を直接お伺いでき、大変有意義だったと感じております。今回頂いた貴重なご意見を反映させ、より進化した報告書を皆様にお届けしたいと思います。また、今後も投資家の皆様との対話をより一層深めて参りたいと考えておりますので、引き続きご支援、ご指導の程、宜しくお願い申し上げます。」

当日の様子を弊社のブログでもご紹介しております。是非ご覧ください。

http://park.commonst30.jp/2016/02/blog-post_24.html

*統合レポートとは？企業の売り上げなどの財務情報に、環境や社会への配慮などの非財務情報を加えて、中長期的な企業価値の向上を投資家はじめあらゆるステークホルダーに伝えるレポート（上場企業の1割くらいの企業が発行）。

*三菱商事株式会社の統合報告書はこちらからご覧いただけます。

<http://www.mitsubishicorp.com/jp/ja/ir/library/ar/>

マーケティング部 馬越 裕子

今月のSEEDCap情報

嬉しいニュースが届きました!昨年SEEDCap授賞式を行った第7回コモンズ社会起業家フォーラムの会場・文京学院大学とのご縁が繋がり、今年度応援先の今井紀明さん(認定NPO法人D×P(ディーピー)理事長)が、今年になって同大学で授業をスタートさせたそうです!普段から、講演やセミナー開催で全国を飛び回っている今井さん。D×Pの支援プログラムを必要としている全国の若者たちに少しでも多く届けられるよう、一つ一つの出会いを大事にしています。3月もあちらこちらに登場しますよ!この機会をどうぞお見逃しなく!



3/13(日)東京:アートで花開く、若者のチカラ <http://www.dreampossibility.com/info/5071/>

3/15(火)京都:わたしに「今」何ができる? <http://www.dreampossibility.com/info/5217/>

そしてD×P事務局は地元大阪にて、若者たちの伴走者となるコンポーザー募集説明会を開催しています。

お近くにいらして、ご関心のある方、是非ご参加ください。

3/11、12(金、土)大阪:コンポーザー募集説明会 <http://www.dreampossibility.com/info/5066/>

SEEDCap担当 馬越 裕子

お客さまの声

セミナー参加者からコモンズへいただいたメッセージを紹介します

参加セミナー :ファンド説明会 in 名古屋

お客様 男性・70代

これまで種々の投資信託に投資してきたが、どれも信念のないものに投資していたと思う。今後、コモンズに投資してみようと思います。

お客様 女性・50代

コモンズ投信の企業姿勢が良くわかりました。また、長期投資への確信も深まりました。

参加セミナー :コモンズ30塾統合ワークショップ「三菱商事を迎えて」

お客様 女性・30代

三菱商事さまの想いといろいろな立場の方のコメントを聞けたのが良かったです。

お客様 男性・30代

企業との対話の場に興味があり参加しました。ワークショップでの意見交換が面白かったです。

コールセンターより

コールセンター センターより

マイナンバーの登録に関しまして:昨年(2015年)末までに弊社にお口座をお持ちのお客さまに、マイナンバーご登録に必要な書類を先月お送りさせていただきました。お客様からのお問い合わせが多い事項について、弊社ブログにてお答えしております。こちらも併せてご参考ください。
http://park.commonst30.jp/2016/02/blog-post_26.html

メディアに登場!

日付	掲載メディア	ニュース
2月6日	TV東京	『マネーの羅針盤「ブルベア羅針盤」』に糸島が出演しました
2月14日	日経ヴェリタス	「マイナス金利の家計防衛術 専門家の見方」で渋澤が「成長狙い長期投資の種まき」としてコメントしました
2月15日	日経電子版	「マネーブログカリスマの直言」に渋澤が「マイナス金利は成長への覚醒を促す苦い薬」と題し寄稿しました
2月15日	日経電子版	「株、1万6000円回復も解けぬ投資家の警戒感」で糸島がコメントしました
2月25日	日経電子版	『株、16000円を挟み一進一退 行く手阻む22兆円の「壁」』で糸島がコメントしました

セミナーでコモンズを体験しませんか!?

セミナー名	日付	時間	場所
コモンズ30ファンド 【7周年記念イベント】	4月2日(土)	14:30~18:10	東京都品川区(きゅりあん)
	5月21日(土)	9:30~11:45	大阪府大阪市(エル・おおさか)
	5月22日(日)	9:30~12:00	愛知県名古屋市 (オフィスパーク名駅プレミアホール)
60才からのはじめてのコモンズ	3月18日(金)	13:30~15:30	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	4月28日(木)		
コモンズ投信ファンド説明会	3月5日(土)	14:00~16:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	3月23日(水)	19:00~21:00	
	4月6日(水)	14:00~16:00	
	4月9日(土)	14:00~16:00	
	4月11日(月)	15:00~17:00	
	4月23日(土)	14:00~16:00	
コモンズまなび塾 はじめて学ぶ投資信託	DAY1 「投資信託とは」(終了)	2月17日(水)	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	DAY2 「自分に合った投資信託とは?」(終了)	2月24日(水)	
	DAY3 「投資信託を選んでみよう」	3月9日(水)	
ジュニアNISA徹底活用! パパとママのためのこどもトラストセミナー	3月15日(火) (お子様連れ可)	10:30~12:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	3月22日(火)	13:30~15:30	
	4月29日(祝・金)	10:00~11:15	
こどもトラストセミナー「かきくけコモンズ」【か】	4月29日(祝・金)	10:00~11:30	東京都世田谷区 (ウィズダムアカデミー田園調布自由が丘校)
くつろぎBAR	3月16日(水)	18:00~20:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	4月20日(水)		
「ザ・2020ビジョン」 四半期報告セミナー	東京	4月13日(水)	東京都中央区 (東京証券会館1階・兜町カフェラウンジ)
	東京・受益者限定	4月15日(金)	東京都新宿区(船井セミナールーム)
	札幌	4月16日(土)	北海道札幌市(わくわくホリデーホール)
	名古屋	4月22日(金)	愛知県名古屋市(リンクあいち)
	大阪・受益者限定	4月23日(土)	大阪府大阪市(エル・おおさか)
		13:30~15:15	
		17:00~18:45	

※セミナーの詳細、お申し込みは弊社ウェブサイトまたはコールセンターへお願ひいたします。

<http://www.commonst30.jp/seminar/> 03-3221-8730 (コールセンター、平日午前9時~午後5時受付)

運用体制と役割

- 新規組入投資先と全売却投資先の決定は、投資委員会での全員一致が原則
- 20%以上の現金比率についても、投資委員会で決定
- メンバーと役割は以下の通り

伊井 哲朗	代表取締役社長 最高運用責任者	・投資委員会議長 ・10~20%の現金比率の決定
渋澤 健	取締役会長	・非財務的な企業価値を含む経営の視点
糸島 孝俊	運用部長 チーフポートフォリオマネージャー	・新規組入・全売却の投資委員会への提案 ・組入先ウェイトのリバランス(2%~4%) ・10%以下の現金比率の決定
鎌田 聰	運用部 シニアアナリスト 兼 ポートフォリオマネージャー	・新規組入・全売却の投資委員会への提案
上野 武昭	運用部 シニアアナリスト	・新規組入・全売却の投資委員会への提案
末山 仁	運用部 シニアアナリスト	・新規組入・全売却の投資委員会への提案

投資銘柄の選定プロセス



未来コンセプトについて

当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

コモンズ流未来コンセプト10

資源・エネルギー	新素材	精密テクノロジー	ウェルネス	生活ソリューション
社会インフラ	未来移動体	快適空間	地球開発	ライフサイクル

コモンズ30ファンドの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受けます。
換金手数料	ありません。
運用管理費(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により遞減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

コモンズ30ファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ

信託設定日	2009年1月19日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることができます。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先	■コールセンター（受付時間／平日 9時～17時） 03-3221-8730	■ウェブサイト http://www.common30.jp/
---------	---	--

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さんに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第 2061 号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

R&I ファンド大賞について

「R&I ファンド大賞」は、R&Iが信賞し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付けではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付け以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付け行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。「投資信託／総合部門」の各カテゴリーは、受賞運用会社の該当ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、受賞運用会社の全ての個別ファンドについて運用実績が優れていることを示すものではありません。

R&I ファンド大賞2015の概要について

「投資信託」および「投資信託／総合部門」は確定拠出年金専用ファンドを除く国内籍公募追加型株式投信、「確定拠出年金」は確定拠出年金向けに利用される国内籍公募追加型株式投信、「NISA」はNISA(少額投資非課税制度)向けに利用される国内籍公募追加型株式投信、「確定給付年金」はR&Iによる登録されているファンド、を対象にしており、いずれも基本的にR&Iによる分類をベースとしている。選考は、「投資信託」、「確定拠出年金」、「NISA」、「確定給付年金」では2013、2014、2015年それぞれの3月末時点における1年間の運用実績データを用いた定量評価がいずれも上位75%に入っているファンドに関して、2015年3月末における3年間の定量評価によるランキングに基づいて表彰している。定量評価は、「投資信託」、「確定拠出年金」、「NISA」では「シャープ・レシオ」を採用、表彰対象は設定から3年以上かつ償還予定期まで1年以上の期間を有し、「投資信託」及び「NISA」では残高が30億円以上かつカテゴリー内で上位50%以上、「確定拠出年金」では残高が10億円以上かつカテゴリー内で上位75%以上、「NISA」では2015年3月末における過去3年間の月次収益率の標準偏差(年率)が30%以下の条件を満たすファンドとしている。「確定給付年金」では定量評価によるランクを用いて表彰している。なお、「投資信託」、「確定拠出年金」、「NISA」では上位1ファンドを「最優秀ファンド賞」、次位2ファンド程度を「優秀ファンド賞」として表彰している。「確定給付年金」では受賞区分を設けていない。「投資信託／総合部門」では、2015年3月末において残高30億円以上のファンドを3本以上設定する運用会社を表彰対象とし、各ファンドの3年間における「シャープ・レシオ」の残高加重平均値によるランキングに基づき、上位1社を「最優秀賞」、次位1社を「優秀賞」として表彰している。詳細はR&Iのウェブサイト(http://www.r-i.co.jp/jpn/ie/itr/fund_award/)をご覧下さい。